



令和5年度 第2回リフトリーダー養成研修 in 広島 報告

開催日：令和5年10月13日(金)～14日(土)

開催場所：フランスベッド広島ショールーム 会議室

主催：公益財団法人テクノエイド協会

実施機関：公益財団法人

フランスベッド・ホームケア財団

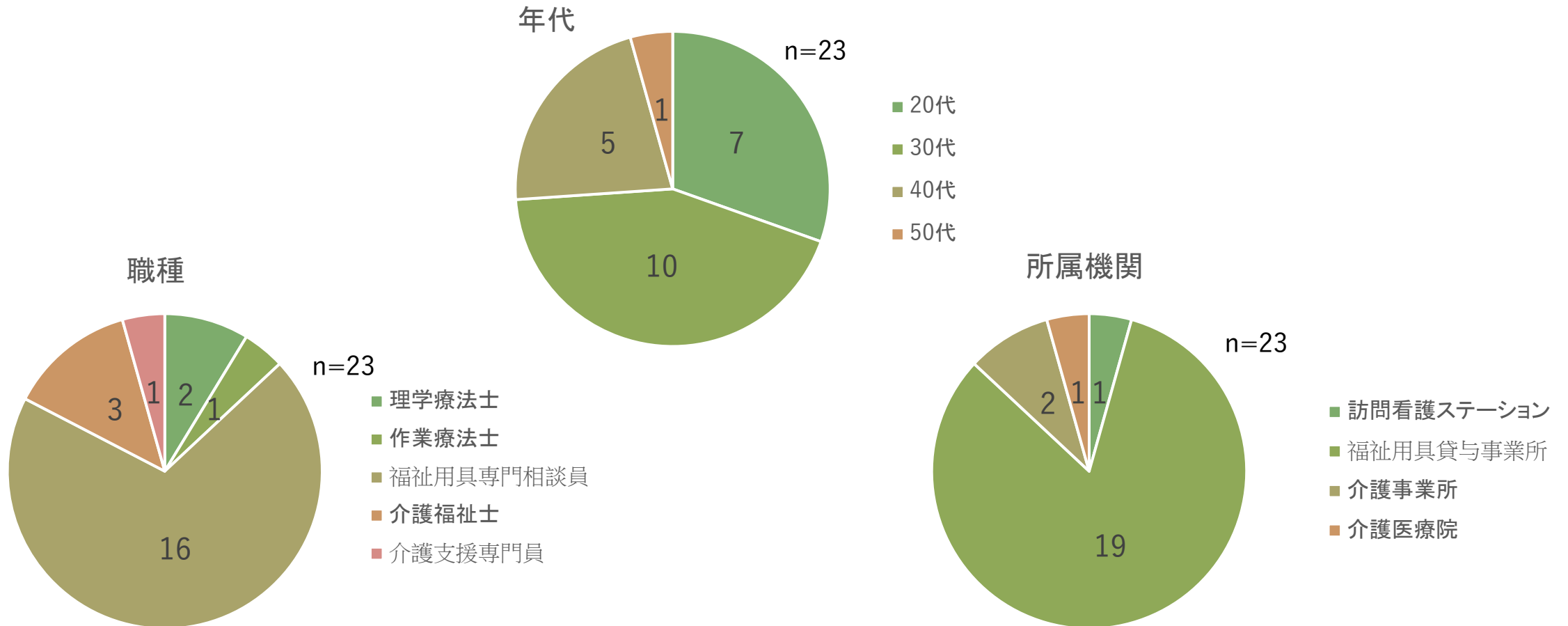
受講人数：23名



リフトリーダー養成研修とは

- ◆ 介護労働者の身体的負担軽減や腰痛予防のため、移動用リフトをはじめとする福祉用具の活用が望まれます。
- ◆ この研修は、アセスメント手法や身体機能に合わせたリフトの選定、活用方法を学び、利用者の安全を守るための技術を習得し、介護支援に携わる専門職の資質向上を図っています。

受講者の内訳





講師紹介

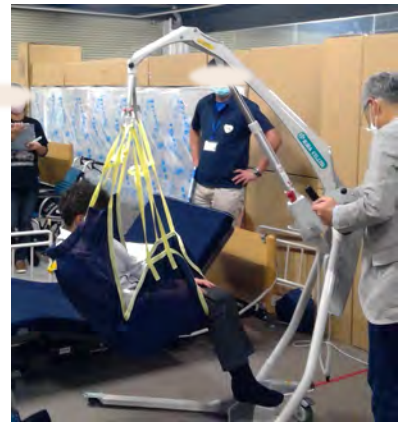
福祉技術研究所(株) 代表取締役 市川 洌 先生

- ◆早稲田大学工学部卒業
- ◆1971年～ 東京都補装具研究所で福祉機器の研究・開発
- ◆1997年～ 東京都福祉機器総合センターで福祉機器の相談
- ◆2001年～ 福祉技術研究所(株)を設立。高齢者・障がい者に対する 各種福祉用具支援やコンサルティングを実施。

誰よりもリフトの種類と使用方法を熟知し、利用者個々または施設に合わせたオーダーメイド的提案ができる先生です。全国各地をまわって、リフト使用の支援に取り組んでいらっしゃいます。

協カリフト業者紹介

- ◆アビリティーズ・ケアネット株式会社
- ◆株式会社 いうら
- ◆シーホネンス株式会社
- ◆株式会社 ミクニ ライフ&オート
- ◆株式会社 モリトー



座学の様子

◆ リフトリーダーと助成金制度（90分）

リーダーとしての心構え 他

◆ 腰痛の原因と対策（90分）

腰痛予防に関連する法令、指針 他

◆ 介護作業とリフト（120分）

吊具・リフトの種類と特徴 他





業者毎のリフトの特徴と扱うポイント、スリングシートの違いなどを説明しながら、リフトから車いすに着座する3つの方法をデモンストレーションしています。

市川講師とリフト業者によるデモンストレーション



市川講師とリフト業者 によるデモンストレー ション

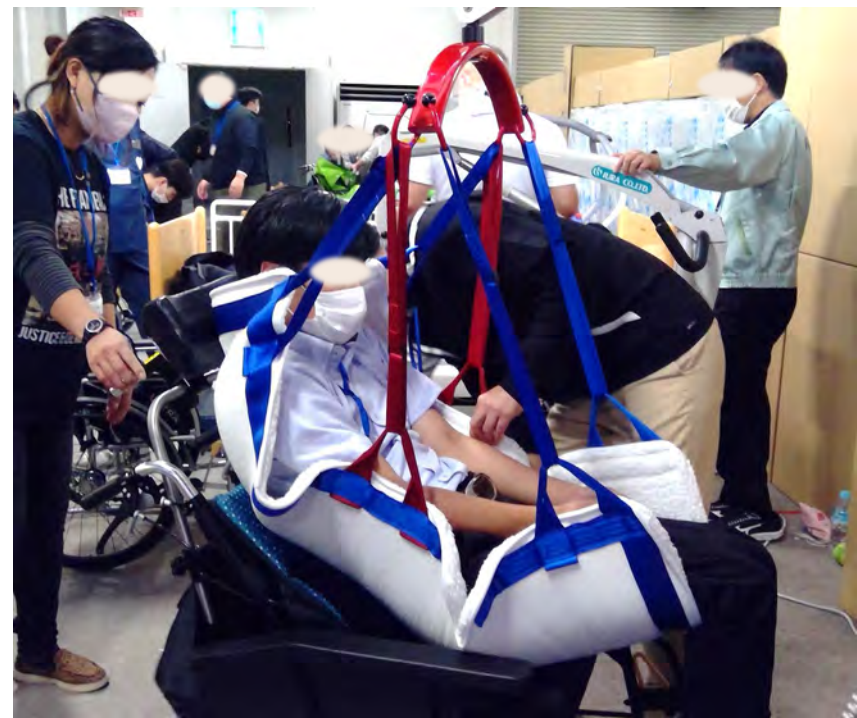
左：ティルトタイプの車いすに着座する様子

右上：ハイジーンスリングで釣り上げた様子

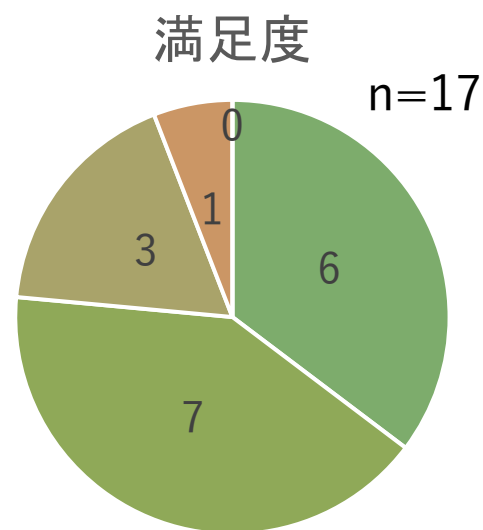
右下：スリングを後ろから引いて車いすに着座する様子

実技研修の様子

- リフト1台にインストラクターが1人つき、指導を行います。
- 全てのリフトが体験できるように、グループごとに順番にまわっていただきます。



実技研修の様子



■ 満足 ■ やや満足 ■ 普通 ■ やや不満足 ■ 不満足

研修生の主な声

- ◆ ノーリフトケアの重要性がよく分かる内容であった
- ◆ 実技を通して、グループで話し合いながらできたのが楽しかった。いろいろなリフトを試して、リフトを使用する上で大切なことがよくわかった。
- ◆ 初手から実技の入るのではなく一から全て講師が全ての工程を実践頂いたお陰で流れが分かりやすかった。
- ◆ 座学・実技の試験について、特に座学面が講習だけでは理解に至らない部分もあり、試験として取り組むならばその内容も含めた座学研修が望ましい。
- ◆ 強いていうなら実技の際に、もう少し各メーカーのリフトを体験できればよかったと感じた。
- ◆ 座学や実技を通して、これまで自身が行っていた移乗の適切でなかった箇所や、うまくできなかったポイントがどこにあるのか理解することができ受講できてよかったと思う。

研修の改善に対する 主なご意見



- ◆二日間で色々なリフトを操作したが、もっと時間があると嬉しいと思った。
- ◆初めての实技なのに、練習時間があまりにも少なすぎて実技試験が思うようにできなかった。リフトの台数を増やすなどして練習を2回程度出来るようにすれば実技試験もある程度自信を持って受けれたと思う。
- ◆実技は各メーカー1回のみだったので、不安な機器においては再復習する時間が欲しかった。
- ◆リフトで車椅子に座った後、続けて他の種類の座り方をすると、最後の衣服の整えまでの連続性が保ちにくく、一連の手順が行いにくいと感じた。

JASPA介護リフト普及協会

リフトインストラクター認定試験



認定試験受講者数 23名

①筆記試験 40分 選択式＋記述

②実技試験 1人15分程度

◆6種類のリフトから自分が実技評価を受けたいリフトとスリングシートを選択

◆スリングシートの準備

◆ベッドからリフトで釣り上げ、車いすまでの移乗

研修の振り返り

- ◆ 回答した方の約8割が満足～やや満足という評価だったため、研修内容としては概ね良い評価をいただけたと考えます。
- ◆ 実技の時間がもっとほしいという意見が多かったため、公益財団法人テクノエイド協会とカリキュラムの時間編成を検討する必要があると思いました。
- ◆ 今回はリフトを種類別に5台用意しましたが、「種類を減らして台数を増やし、一人ひとりの実技時間を多くする」、または「複数回の体験をしたい」等のご意見がありました。今までの研修では5～6台のリフトを用意していましたが、実技時間を含め、実技方法も再検討する必要があると思いました。



ご参加いただき、ありがとうございました。



アンケート結果

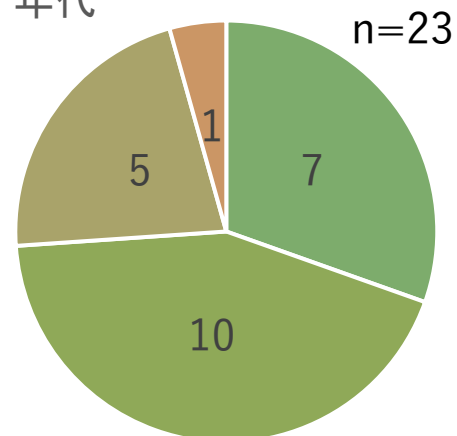
配布数:23名 回収数:17名 回収率:74%

アンケート方法:

Microsoft Office365 Forms を使用

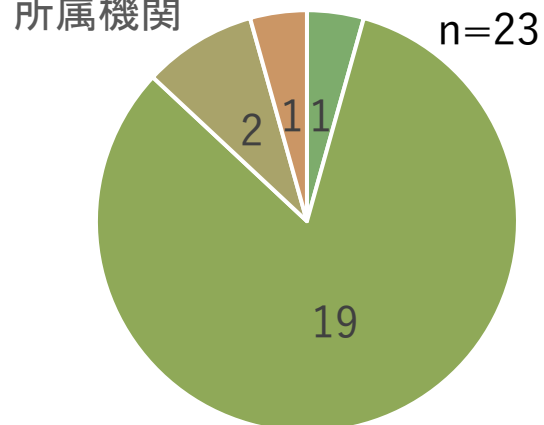
受講者の状況

年代



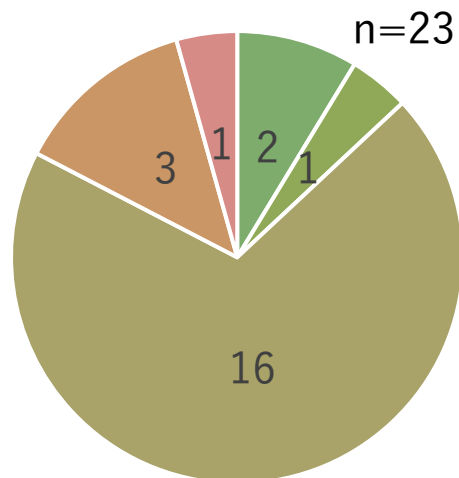
- 20代
- 30代
- 40代
- 50代

所属機関



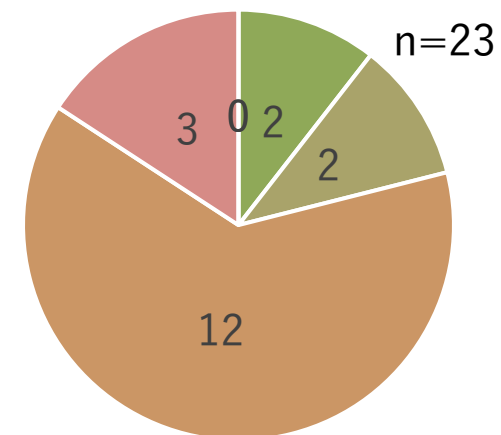
- 訪問看護ステーション
- 福祉用具貸与事業所
- 介護事業所
- 介護医療院

職種



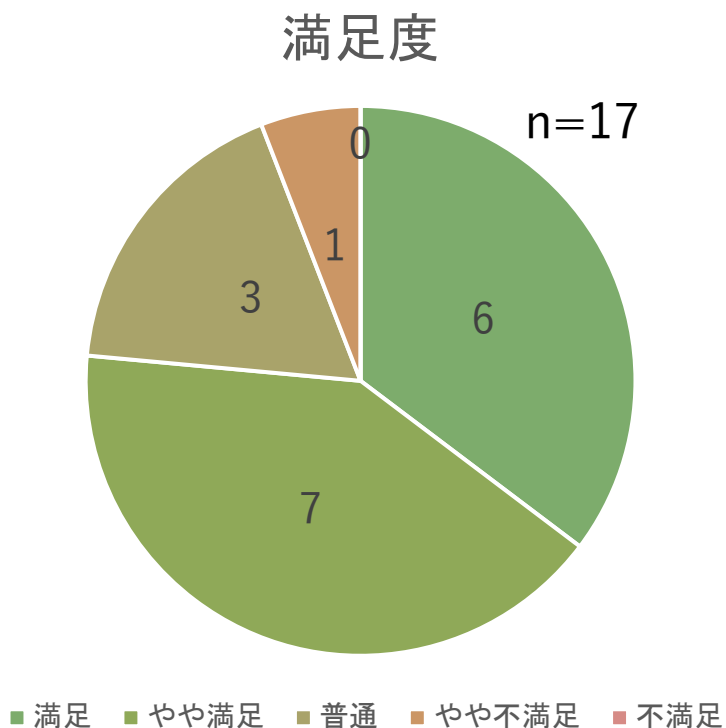
- 理学療法士
- 作業療法士
- 福祉用具専門相談員
- 介護福祉士
- 介護支援専門員

研修をどのように知ったか



- 公財テクノエイド協会からの勧め
- 当財団のホームページ
- 当財団からのDM
- 上司からの勧め
- フランスベッド(株)営業所からのご案内
- その他

研修の満足度



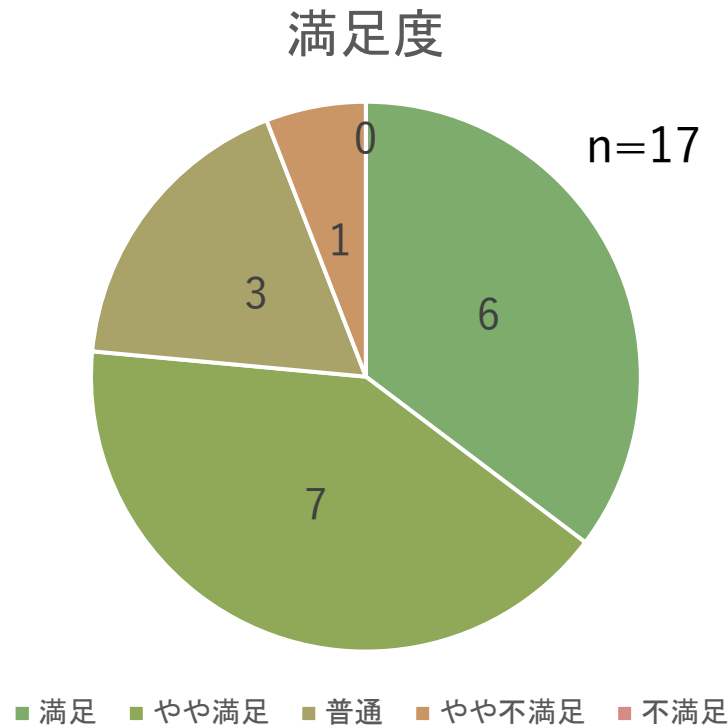
満足の原因

- ◆ ノーリフトケアの重要性がよく分かる内容であった
- ◆ 実技を通して、グループで話し合いながらできたのが楽しかった。いろいろなリフトを試して、リフトをする上で大切なことがよくわかった。
- ◆ 座学と実技指導のメリハリがあり、分かりやすかった。
- ◆ リフトの取り扱いを再認識できた。
- ◆ リフトの知識を深めることができた
- ◆ メーカー別の特徴がよく分かった

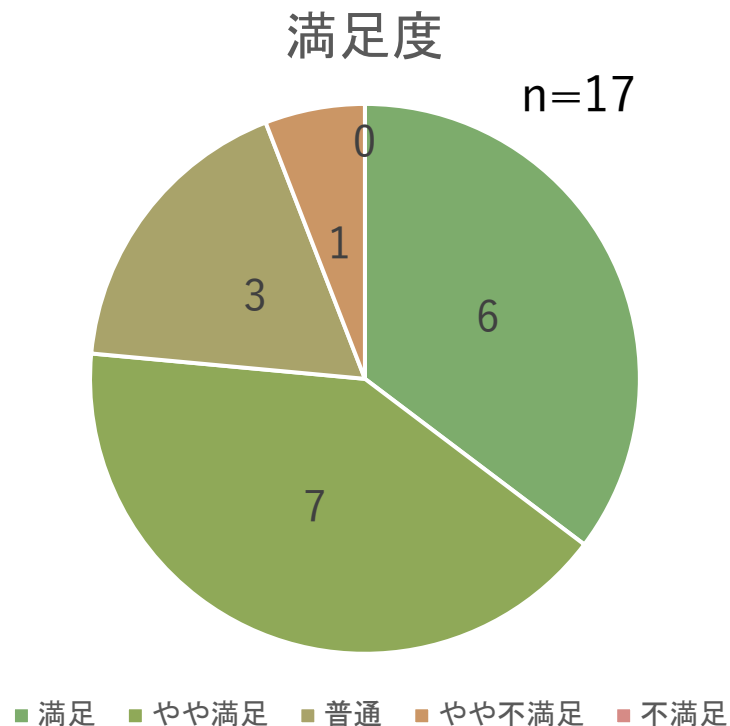
研修の満足度

やや満足の原因

- ◆ 実際の利用者の写真を使うなどで分かやすかった。初手から実技の入るのではなく一から全て先生が一度全ての工程を実践頂いたお陰で流れが分かりやすかったが、講義のカリキュラムが予定より崩れてしまった事で集中力が途切れた。
- ◆ 多様なメーカーのリフトに触れることができた点良かった。
- ◆ 概ね満足に近いが、強いていうなら実技の際にもう少し各メーカーのリフトを体験できればよかったと感じた。
しかし、座学や実技を通して原理が受講する前と後では理解を深めることができ、これまで自身が行っていた移乗の適切でなかった箇所や、うまくできなかったポイントがどこにあるのか理解することができ受講できてよかったと思う。
- ◆ とても勉強になった。
人数の都合上、実技が時間内に順番が回ってこないことがあった。もっと練習がしたかった。
- ◆ 普段触る機会がないリフトをメーカーごとに触れることができ、細かな配慮や手技等知識習得に繋がった。
- ◆ 筆記テストも2日目の方が、座学のキーワードを経験しながら、より良い回答を導き出せるのでは感じた。
- ◆ 座学・実技の試験について、特に座学面が講習だけでは理解に至らない部分もあり、試験として取り組むならばその内容も含めた座学研修が望ましいかと愚考致しました。



研修の満足度



普通の理由

- ◆ 講師の経験談でのご教授が多かったと思う。
「エビデンスはないのですが・・・」のような教え方をされるとこちらも不安になる。
その教え方が少し不思議だと思ったから。内容的には面白かったと思う。
- ◆ 研修内容は良いと思った。

やや不満足

- ◆ 時間的には1/2~1/3で足りるかと思います。

研修の改善点

研修の改善が必要なところ

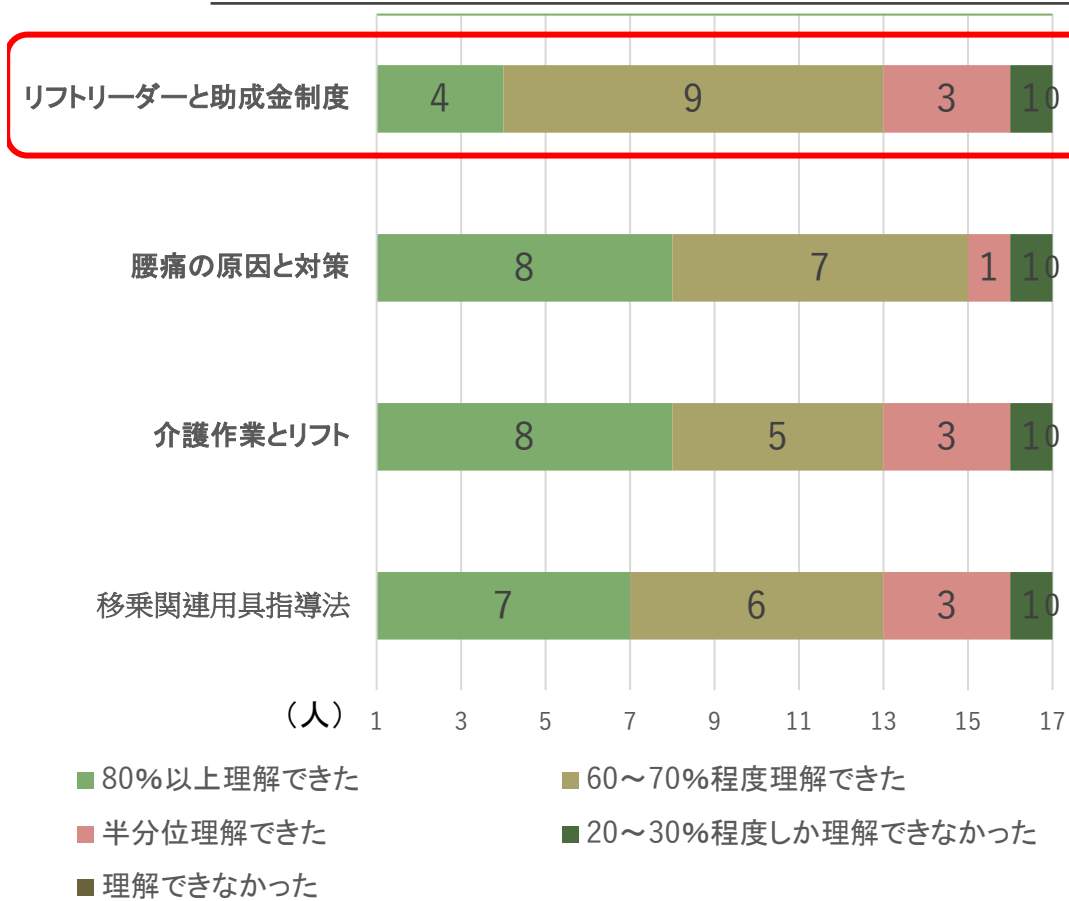
- ◆ 座学がもう少し短いとありがたいです。
- ◆ 座学の無駄や不要な項目がかなり多いように感じた。
- ◆ 二日間で色々なリフトを操作したが、もっと時間があると嬉しいと思った。
- ◆ 時間が凝縮されていたためリフトに触れる時間が少なく感じました。多少自由時間などがあれば良いかと思った。
- ◆ 実技研修の時間が少し短い、足りない。
- ◆ 実技は各メーカー1回のみだったので、不安な機器においては再復習する時間が欲しかった。
- ◆ リフトで車椅子に座った後、続けて他の種類の座り方をすると、最後の衣服の整えまでの連続性が保ちにくく、一連の手順が行いにくいと感じた。
リフトで車椅子に完全に移し衣服を整える所まで行った後に、他の座り方を実施する方が良いのではと思った。

研修の改善が必要なところ

- ◆ 初めての实技なのに、練習時間があまりにも少なすぎて実技試験が思うようにできなかった。練習の際も前の人
が長くなり、ただ見てるだけで一度も実践できない時もあった。リフトの台数を増やすなどして練習を2回程度出来るようにすれば実技試験もある程度自信を持って受けれたと思う。
- ◆ 2日目、リフトを一通り実技で試した後、試験までの時間が少なく1番目に試験を行う人は大変だと思いました。反復して頭の中で整理する時間をもう少しでも設けていただけたらと思った。
- ◆ 日数を増やしても良いと感じた。
- ◆ 座学会場の机、座席位置、スクリーン位置。少しよける程度では、前方の方でスライドが見えません。
- ◆ 講師の改善は難しいと思うので、ありません。

科目別理解度

科目別理解度



リフトリーダーと助成金制度

80%以上理解できた理由

- ◆ 介護をする上では1番腰痛で悩むことが多いため、使いづらいからしない、ではなくリフトは使用していくべきだとすごく感じたから。
- ◆ 腰痛は誰にでも起こりうるものだから、自分も気をつけて、用具を導入した際の注意喚起にもしっかりと繋げていける自信になった為。
- ◆ 資料等をみると、リフトを含めた様々な福祉機器・用具の導入は施設等では十分ではないこと、人力で身体を痛めかねない介助を行なってしまうことで腰痛を発症などのリスクに繋がるのだと改めて感じた。
- ◆ なぜ腰痛になるのかというのが具体的でよかった。
- ◆ 元々持っていた厚生労働省の腰痛予防指針の知識を持っていたため、スムーズに内容が理解できた。

60~70%程度理解できた理由

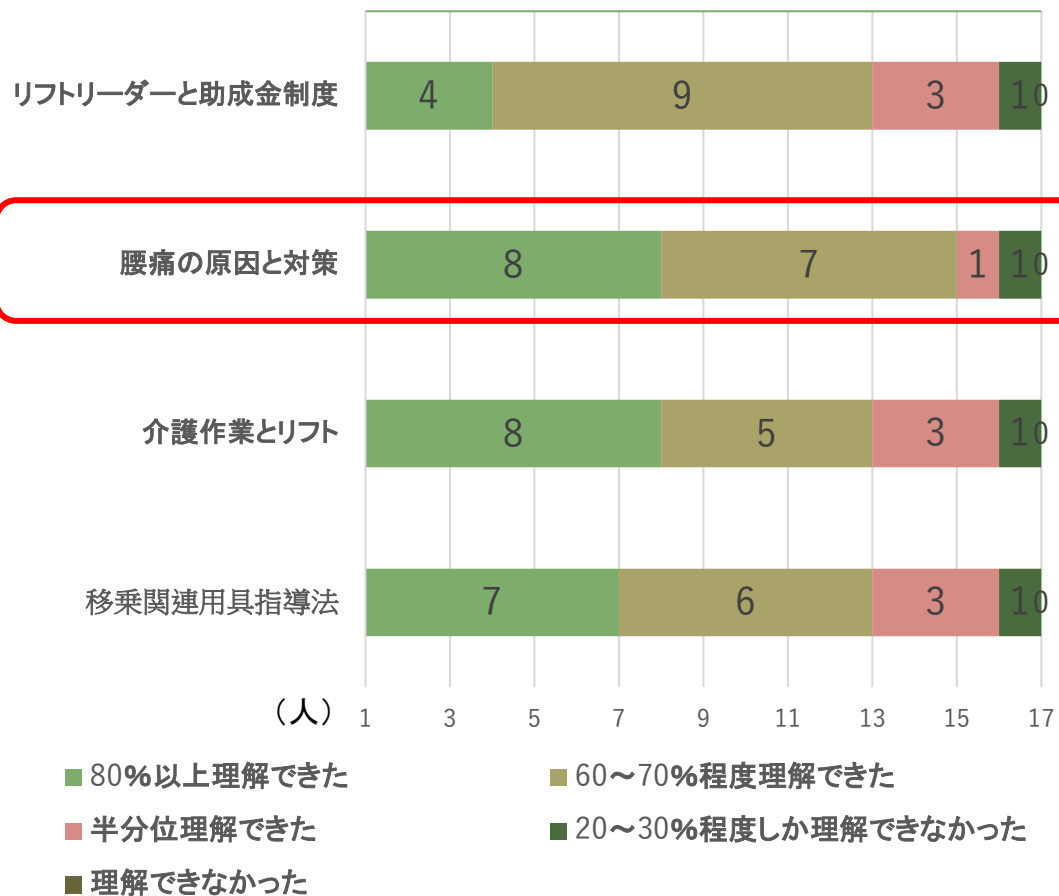
- ◆ 現場で働く職員の話事前に聞き取りしていた為。
- ◆ 介助の良い方法・悪い方法などスライドを交えることでよく理解することができた。
- ◆ 理解はできるが、現場ごとのレベル差が激しく、対策提案に悩む。

半分位理解できた理由

- ◆ 自分自身がすぐに覚えられないタイプなので、もう少し時間が欲しかった。

科目別理解度

科目別理解度



腰痛の原因と対策

- ◆ 80%以上理解できた理由
- ◆ なぜ腰痛になるのかというのが具体的でよかった。
- ◆ 元々持っていた厚生労働省の腰痛予防指針の知識を持っていたため、スムーズに内容が理解できた
- ◆ 介護をする上では1番腰痛で悩むことが多いため、使いづらいからしない、ではなくリフトは使用していきべきだとすごく感じたから。
- ◆ 腰痛は誰にでも起こりうるものだから、自分も気をつけて、用具を導入した際の注意喚起にもしっかりと繋げていける自信になった為。

60~70%程度理解できた理由

- ◆ 現場で働く職員の話事前に聞き取りしていた為。
- ◆ 介助の良い方法・悪い方法などスライドを交えることでよく理解することができた。

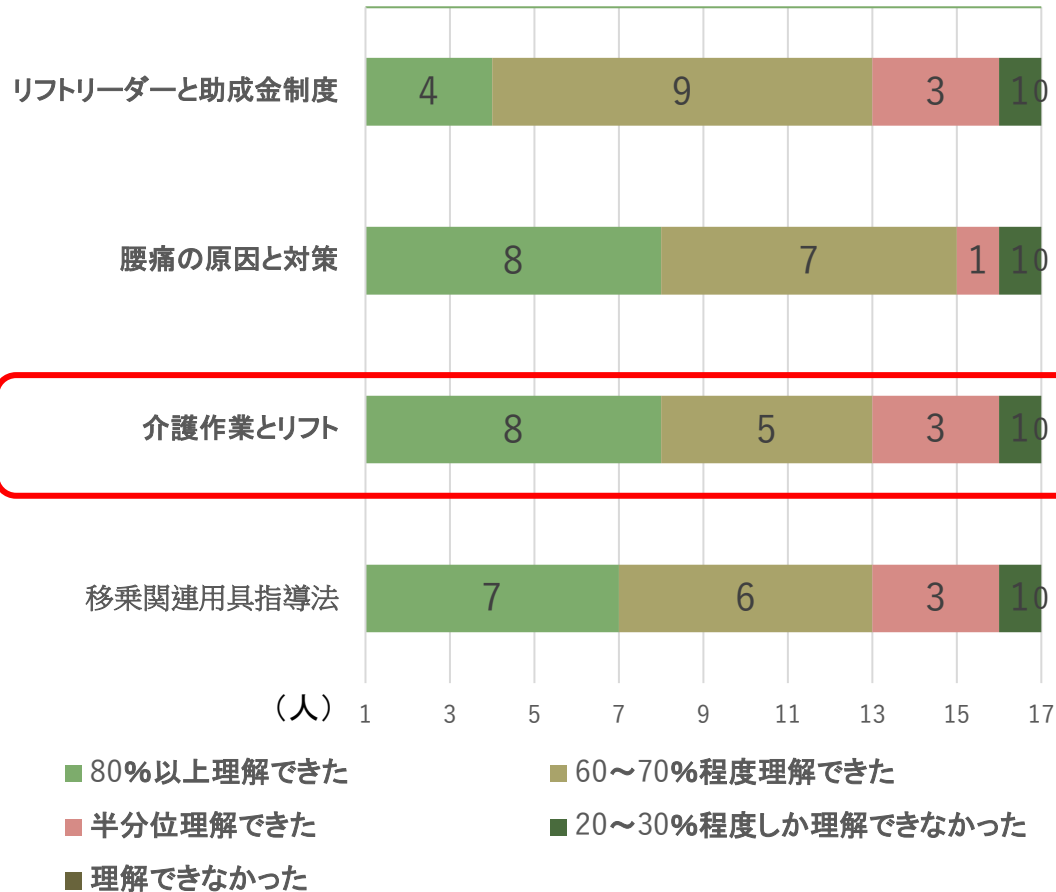
半分位理解できた

- ◆ 自分自身がすぐに覚えられないタイプなので、もう少し時間が欲しかった。

※20~30%程度しか理解できなかった理由の記載はなし

科目別理解度

科目別理解度



介護作業とリフト

80%以上理解できた理由

- ◆ 実機を触り実感出来た。
- ◆ 内容が具体的で理解できた。
- ◆ 実技の中で、各メーカーの上級指導者の説明がわかりやすかった
- ◆ 改めて、ご利用者への安心感の声かけ、介護する側の作業確認の徹底の必要性を感じた。原理原則が明確な講師指導に理解が深まった。
- ◆ スライディングボードやリフト等を適切に使用すれば、介助者側も介助を受ける側にも負担が軽減されることを改めて理解できた。また、スリングシートの種類や使用できる人の特徴等を理解することができた。

60~70%程度理解できた理由

- ◆ 現場でのリフトとは違う種類のものがあったり、ローバックハイバックなど、スリングの種類も知ることができた。
- ◆ リフトを使用することでのメリットなどしっかり理解することができた。

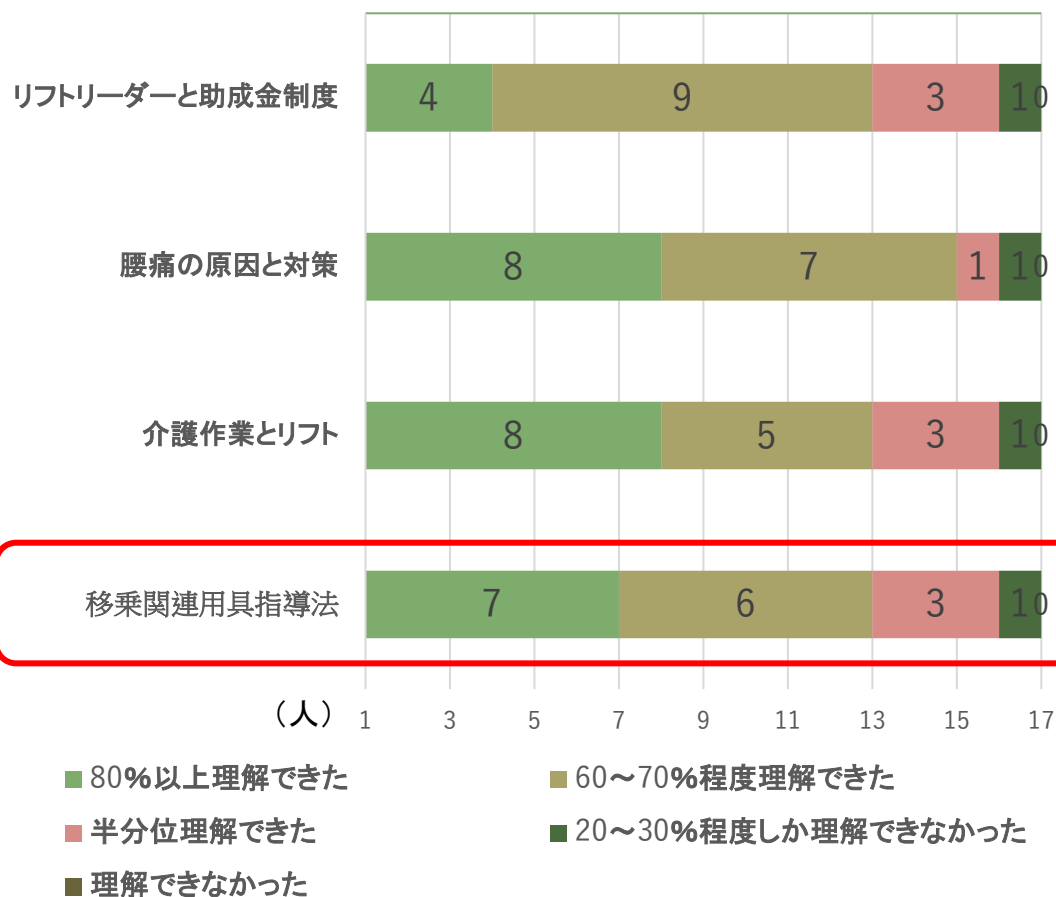
半分位理解できた

- ◆ リフトの種類が多い事や介護作業などの工程が多い事で混乱してしまった箇所がある為。
- ◆ 自分自身がすぐに覚えられないタイプなので、もう少し時間が欲しかった。

※20~30%程度しか理解できなかった理由の記載はなし

科目別理解度

科目別理解度



移乗関連用具

80%以上理解できた理由

普段使用しており、再認識出来た。

各メーカーのいろいろな意見などが聞けて面白かった。

原理、原則に基づいて、数値化されたチーム共有しやすいポイントご指導頂きました。

60~70%程度理解できた理由

大事なポイントなど確認することができた。

実際に実技で行い、リフトでの移乗時には複数の着座方法があること、スリングシートの当て方、釣り上げる前の確認事項や注意点などこれまでしっかり確認できていなかった項目等を理解しながら取り組むことはできた。しかし、実践してみると、原理をまだまだ確実に理解できていない箇所も自身にあったかと感じた。

スライディングシートの実技を知りたかった。

半分位理解できた

いろいろなリフトを試せたが、完全にメリットデメリットを把握して、操作することはできなかった。ただ知ることはできたから。

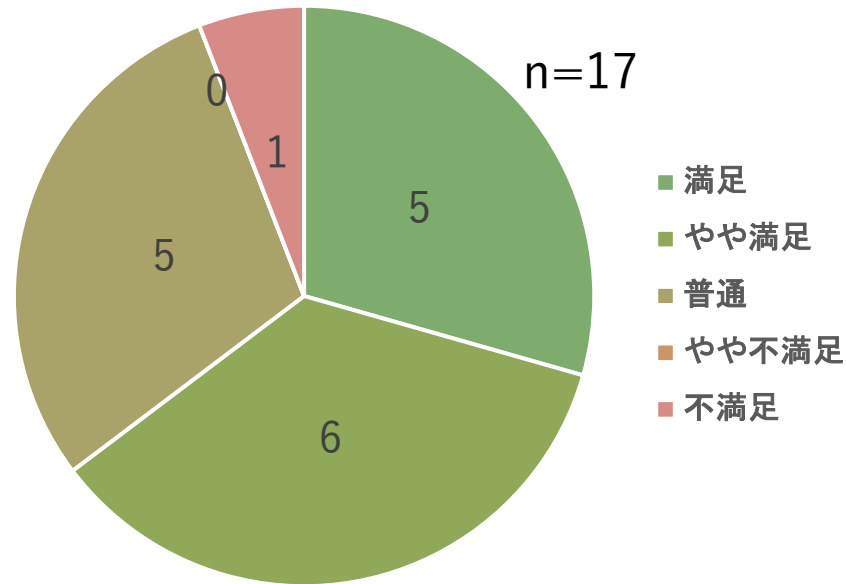
一つ一つ細かい箇所などがあり、難しかった為。

自分自身がすぐに覚えられないタイプなので、もう少し時間が欲しかった。

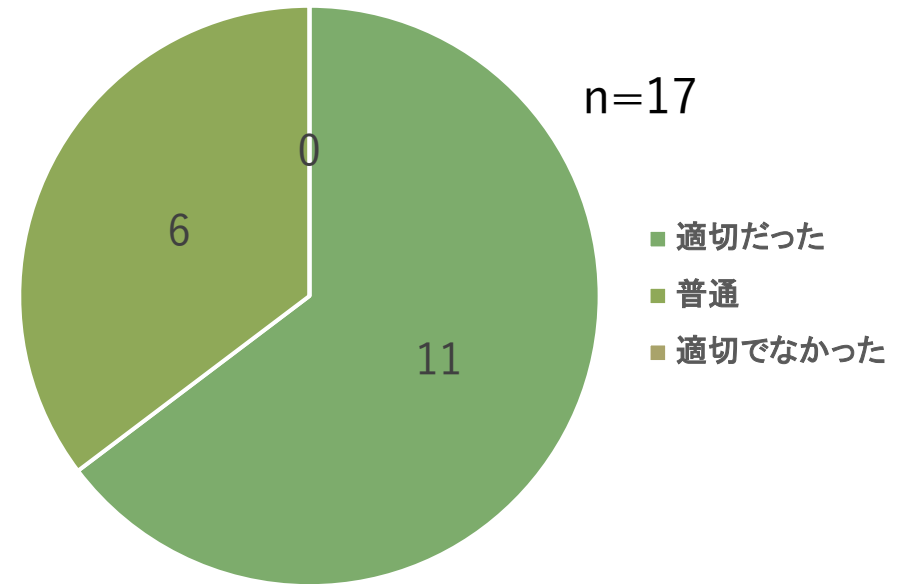
※20~30%程度しか理解できなかった理由の記載はなし

教材の評価

テキストや教材の評価



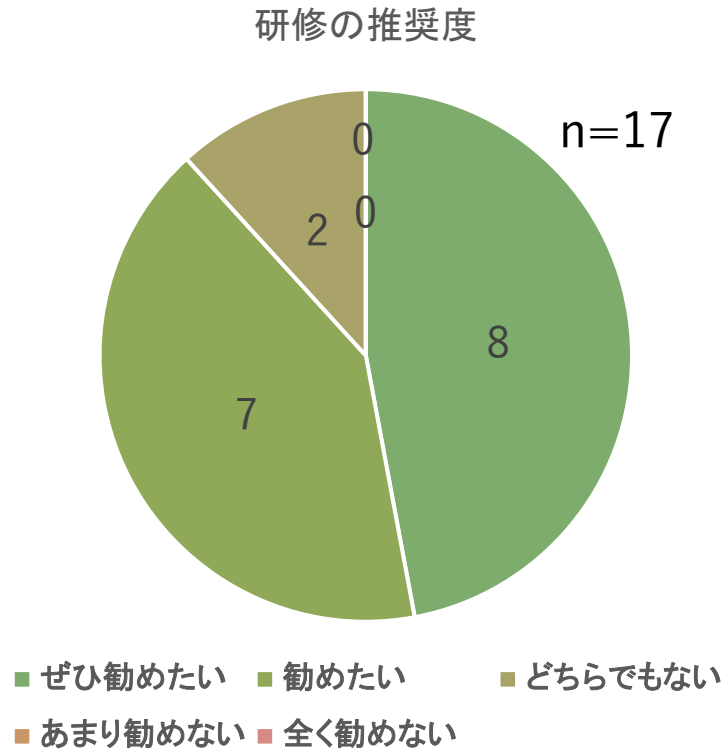
使用した福祉用具の評価



研修に使用した福祉用具に対する意見

- ◆ リフトと車椅子の相性も理解できるような車椅子選定もあればよかったと思う。
- ◆ リフト使用場面において、ベッド就寝姿勢、スライドシートやグローブ作法が盛り込まれ、体験できる内容を希望する。
- ◆ 特になし。問題ないと感じた。

研修の推薦度 ご意見・ご希望



ご意見・ご希望

- ◆ 実技の時間がもう少し欲しかったのと、メーカーはもう少し減らしても良いかと思った。
- ◆ ほぼ実技のみでもいいように感じた。
- ◆ 意見、要望はないですが、リフトの扱い方だったリスリングの使い方などはよくわかった。このような機会を設けていただきありがとうございます。
- ◆ 全体を通して筆記では難しい所もあったが、今回リフトについて学んだことは大変貴重だった。これを活かしてケアマネ様にも自信を持って案内や促進が出来そうです。有難うございました。
- ◆ 奥が深いです。2日だけでは自信には繋がらない、かつ、職場環境に設備がないと更に習得には不安がある。
- ◆ 日数だけもう少しあればよいと感じた。
- ◆ 有意義な研修だった。ありがとうございました。
- ◆ 大変勉強になった。ありがとうございました。